

海外の研究機関で
良い刺激を受けました

私は2011年4月から本学工学研究科知能情報分野にて助教に着任しました。初めて教員に着任したこともあり慣れないことも多いですが、周りの方々に支えていただき仕事をこなしています。私が携わっているのは、画像上に写っているものを認識する「パターン認識」という分野で、特に顔認識に関する研究をしています。

昨年は、日本学術振興会優秀若手研究者海外派遣事業により、英国オックスフォード大学で研究に従事していました。日本と異なり研究室には博士課程の学生のみが配属され、彼らは自身で奨学金を獲得したり、指導を受けている先生の研究費の一部から給料をもらいながら学生生活を送ります。奨学金をもらえる期限を

内海 ゆづ子 ● 大阪府立大学工学研究科知能情報分野助教



過ぎても博士論文がまとまらなかったり業績が出ずに研究費を打ち切られた場合は博士課程を途中で辞めなければなりません。こういった厳しい環境で研究していることもあり、学生たちは非常に真剣に研究をおこなっています。

海外のトップクラスの研究機関で研究をすることは研究者人生にとっても良い影響を与えたいと思います。学会では、研究の内容は分かりませんが、どのような過程を経て研究結果が出ているかまでは分かりません。実際に海外で研究してみて初めて分かります。私は、オックスフォードで研究を進めるスピードの早さや、学生や先生たちが徹底的に議論を進める様子を目のあたりにし、非常に刺激を受けました。

また、彼らの知識が幅広く非常に深いことにも感銘を受けました。読んでいる論文の数は圧倒的に多く、自身が勉強不足であると思知らされました。

研究者を目指される方は、海外での研究も視野に入れてキャリアパスを考えることをお勧めします。選択肢が広がるだけでなく、海外に行くことで視野も広がり、研究にもいい影響が出ると思います。

女性研究者支援センターの
相談窓口

大阪府立大学の女性教職員および女子学生を対象に、2つの相談窓口を開設しています。

支援センター
相談

研究を続けていく上で困ったこと、悩んでいることについて、支援センターのコーディネーターが、あなたに必要な支援や情報を一緒にお探します。

女性の健康
相談

職場・研究環境と健康に関わる問題について、保健師・助産師がサポートします。

相談日スケジュール

- 第1月曜日 9:30~13:30 羽曳野キャンパス
- 第2月曜日 9:30~13:30 りんくうキャンパス
- 第1・2水曜日 9:30~13:30 中百舌鳥キャンパス

女性の健康相談ミニ・セミナー <各相談日の12:15~12:45>

自分自身の健康について考えてみませんか？
毎月テーマを変えて、相談員(助産師)によるミニ・セミナーを開催しています。

- 8月のテーマ:「基礎体温を測ってみましょう」
自分のからだのことがよくわかります。
- ※9月以降も継続しておこないます。

「支援センター相談」と、「女性の健康相談」の個別相談には、予約が必要です。お問い合わせ・ご予約は下記へ。

- E-mail w-support@ao.osakafu-u.ac.jp
- ※件名に「健康相談」と入れてください



数字で見る! 男女共同参画
「48,356人」

全国の保育園の待機児童数

厚生労働省「報道発表資料(平成23年3月8日)」より

幼い子どもを持つ親が働き続けるために、保育所はなくてはならないものです。厚生労働省がまとめた平成22年10月1日現在の待機児童数は、全国で48,356人。そのうち大阪府は2,902人と、東京都に次いで全国2位の多さとなっています。保育所の定員(平成22年4月1日現在)は215万8千人と、前年に比べて2万6千人増えていますが、それ以上に保育所を利用したい人が増えているのが現状です。

平成22年1月に閣議決定された「子ども・子育てビジョン」では、「妊娠、出産、子育ての希望が実現できる社会」を目指して、平日昼間の保育サービスの受け入れ人数を、平成26年度までに平成21年度の数から約1割アップし、241万人にする目標を立てています。

大阪府立大学では、学内保育施設として「つばさ保育園」を開園しました。これは直接、待機児童を解消する目的でつくられたものではありませんが、本学教職員や学生が、仕事や研究・勉強と家族責任を両立できるように、と設置されました。つばさ保育園を利用することによって、また、それを利用する人たちが子どもたちを実際に学内で目にするることによって、これまでの働き方の見直しにつながっていくきっかけとなることが期待されます。



公立大学法人 大阪府立大学
女性研究者支援センター

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1
(中百舌鳥キャンパスB16棟)

TEL・FAX (072) 254-9856 (内線5057)
E-mail w-support@ao.osakafu-u.ac.jp
URL http://www.opu-genki.jp

NEWS
LETTER

No.3 2011.8

文部科学省 科学技術人材育成費
「女性研究者支援モデル育成」事業



女性研究者支援センター

元気! 生き生き
女性研究者・公立大学モデル

大阪府立大学では、理系の女性研究者・院生・学生のために様々な支援プログラムを実施し、理系女性研究者を増やしていこうというプロジェクト「元気! 生き生き 女性研究者・公立大学モデル」を行っています。これは、平成22年度「科学技術振興調整費(女性研究者支援モデル育成)」に、公立大学としては全国で初めて採択された取り組みです。

平成23年4月3日(日) つばさ保育園オープニング記念講演

「女も男も仕事と子育て!~ワークライフバランス実現のコツ~」を開催!

4月3日(日)の本学「花祭り」開催に合わせ、上田理恵子さん(株式会社マザーネット代表取締役社長)と、中村喜一郎さん(本学・工学研究科修士 経営・人財コンサルタント)のおふたりに、仕事と子育てをどちらも続けていくために必要な支援について、またワークライフバランスについて、ともに親でもあるご自身の経験を交えて講演していただきました。

上田さんは、これまで働くお母さんを支援してきた中から、仕事と育児の優先順位をつける、頼れる人・支援を利用する、家事を便利にするための設備投資を早めにする、というワークライフ balan

s実現の3つのコツについて話されました。中村さんは、グローバル企業で研究開発をされて、日本人男性として社内で初めて育児休暇をとられた経験から気づかれたこと、ワークライフバランスは今日一日ではなく人生全体におけるバランスととらえ、個々に異なるところを認め合うことで助け合う機運が生まれると思うと話されました。

講演後は、会場から多くの質問が寄せられ、実りある講演会となりました。



上田さん

中村さん

女性研究者の皆さんに贈る

「ファイト! 闘う君の唄を、闘わない奴等が笑うだろう。
ファイト! 冷たい水の中を、ふるえながらのぼってゆけ」

今から80年前の1931年8月2日、人見絹江さんが肺炎で亡くなった。享年24歳。女性の参加が初めて認められたアムステルダム五輪に出場し、800m走で銀メダルを獲得した。日本勢がトラック競技で次にメダルを獲得したのは2008年の北京五輪男子400mリレーの銅。実に80年後で、しかも女性では最初のメダルなのだ。記録も素晴らしいが、彼女が尊敬される理由はそれだけではない。厳しい環境に挑み、主体的に変えていこうとする強い精神が、現代に生きる私たちを深く感動させるのだ。

女性の陸上競技参加は、クーベルタン^{※1}ですら反対したほど世間の偏見が強かった。日本でも彼女への有形無形の圧力は大きく、共に参加を決めていた女性選手は周囲の反対にあり、辞退を余儀なくされたほどだ。帰国後は大阪毎日新聞に勤務しながら、後進を育てるために日本女子陸上チームのリーダーとなり、自ら進んで競技会に出場し、資金集めにも奔走した。しかし過労から肺炎を起し阪大病院で帰らぬ人となった。翻って、今日「男性の世界」と考えられてきたサッカーやゴルフから宇宙飛行に至るまで、日本女性の世界での活躍が報

公立大学法人 大阪府立大学 理事 正木 裕

道され、一見女性の社会進出は「女性初」の語句を死語とするほど当たり前のように思える。しかし、華やかなメディアの世界を離れ、社会の隅々に目をやると、家事・育児と仕事の両立、DV^{※2}、就職難や雇用調整による被害など、女性が引き受けている困難は未だ数多く、傷つき倒れる事件も往々に見受けられる。

大学という小さな世界だが、私たちに課せられた使命は、女性研究者が安心して活躍し育って行ける環境を作ることだ。女性特有の研究上の障害は厚いかも知れないが、人見絹江さんに負けないファイトを燃やして戦って欲しい。そして、途上で倒れることなく大きな研究成果を達成して欲しいのだ。女性研究者のフロンティア精神と大学の支援体制ががちりとかみ合った時、府立大学は輝く女性研究者のエルドラードとなるだろう。

(副題は中島みゆきの「ファイト」から)

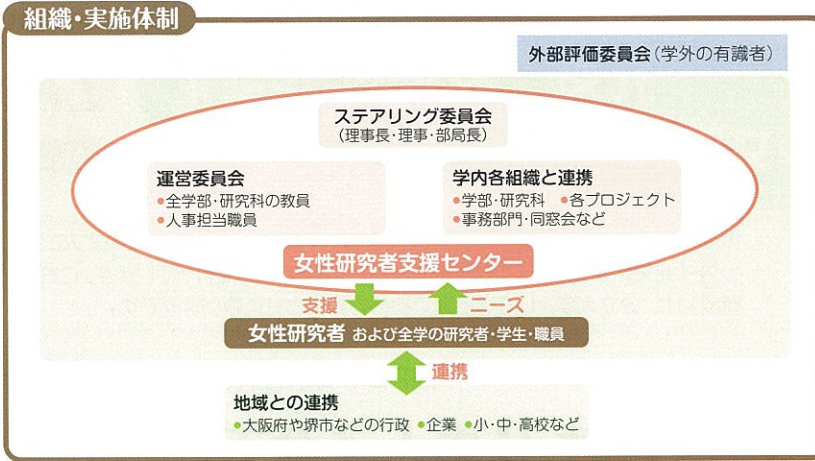


【※1】クーベルタン(Coubertin,Pierre de 1863-1937)…教育者、体育指導者。人類の健全な発達のために体育奨励の必要を各地に勧説し、1894年ギリシアにオリンピック競技会を復活、以後1925年まで国際オリンピック委員会の会長を務めた。<1971、「新版 世界人名事典 西洋編<増補版>」,(株)東京堂出版,pp.222> 【※2】DV(domestic violence=ドメスティックバイオレンス)…親密な関係にあるパートナーからの暴力。<NPO法人 全国シェルターネットワーク、2011、「女性のためのDV相談室」,http://nwsnet.or.jp/dv/index.html(2011/07/15).>

「元気! 活き生き女性研究者・公立大学モデル」事業をスタートして1年、その概要と取り組みを紹介します。

プログラムの目的・・・全学的システム改革

- 理系女性研究者の増加**
- 事業終了までの3年間で理系女性研究者数を現在の30%アップする。
 - 理系博士課程を修了する院生の女性比率を25%まで引き上げる。
- 環境整備**
- 相談窓口・メンター制度・保育室を開設する。
 - 出産・育児等の問題に直面した理系女性研究者のために研究支援員を配置する。
- 地域貢献**
- ロールモデル・バンクの構築と活用により地域に貢献する。



1 支援のための環境整備 推進体制を整えるとともに、女性研究者への直接支援などを行っています。

女性研究者にヒアリングを行い研究を続けるための意見や要望を調査しました

新たに女性研究者2名に研究支援員を配置しました

平成23年8月1日現在、合計7名を配置。

キャンパス内に「つばさ保育園」がオープンしました

オープニングイベント 4/3(日) 中百舌鳥キャンパス

本学「花(さくら)祭り」開催に合わせ、竹山修身堺市長にご臨席いただき、保育園のオープニングイベントを開催しました。当日は本学関係者を対象に内覧会も行われ、新しい保育園を見学に来られた方々でアットホームな式典となりました。



女性の健康相談ミニ・セミナーを始めました

7月より相談日のお昼休みを利用して、健康相談の相談員(助産師)による女性の健康についてのミニ・セミナーを行っています。毎月テーマを変えて、女性の健康について一緒に考えていきます。

7月のテーマは「生理痛」でした。8月のテーマは「基礎体温を測ってみましょう。自分のからだのことがよくわかります」。ちょっとした疑問や病院に行くほどでもないと思っている小さな悩みの解決に役立てていただければ、と思います。

4月より開園し、4ヶ月がたちました

現在0歳～2歳の園児が元気に通っています。木のおもちゃで遊んだり、広い大学の構内を散歩したり、手作りの給食やおやつを食べたりと、毎日楽しそうです。産声をあげて間もない保育園ですが、着実な歩みを進めています。子どもを預けている方からも「とても助かっています」との声をいただいています。

つばさ
保育園
便り



2 全学的意識改革 女性研究者が研究を続けていくことへの理解を進めます。

子育て応援ピンバッジ・シールを配布しています

これは、男女を問わず、子育て中あるいは子育てを応援しようという教職員が身につけることで、家族責任と仕事・研究の両方を大切にしていける環境作りを進めます。

3 キャリアパスの構築と裾野拡大 女性が研究者として活躍するキャリアパスを構築すると共に、理系を志す女性の数を増やします。

おもしろ理科実験を開催しました 4/3(日) 中百舌鳥キャンパス

本学「花(さくら)祭り」開催に合わせ、小学生を対象に科学のおもしろさを知ってもらおうと行いました。理系の女子大学院生の企画・運営によるもので、パラボランテナ、片栗粉やヨーヨー風船など、身近なものを使った実験に定員を上回る参加があり、参加した子どもたちと保護者の方々も、とても楽しんでいる様子でした。最後に、参加者全員がスタッフ手作りの「おもしろ理科実験マスター」メダルを受け取りました。



アイリス 女子大学院生チームIRIS(I'm a Researcher In Science)発足 任命式が行われました

7/16(土) 中百舌鳥キャンパス

小・中・高校生に科学の楽しさを伝える理系女子大学院生チームのメンバーを募集したところ、工学・生命環境科学・理学系研究科より17名の応募がありました。チームで話し合い、



名称をIRIS(アイリス)として発足しました。オープンキャンパスで理系をめぐす女子中高校生に話をしたり、地域に出向いて子どもサイエンス・キャンパスを実施するなど、活動をしていきます。これからの活躍にご期待ください。



今後の活動予定

- 「めざせ! 理系女子コーナー」開催 8/6(土)・7(日) 本学オープンキャンパス
- 「子どもサイエンス・キャンパス」 8/6(土) 大阪市立男女共同参画センター東部館(クレオ大阪東)
- ノートルダム学園清心女子高等学校との交流会 8/10(水)
- 「子どもサイエンス・キャンパス」 8/17(水) 中百舌鳥子ども会
- 「子どもサイエンス・キャンパス」 高石市立高石小学校
- 「子どもサイエンス・キャンパス」 和泉市男女共同参画センター など

第2回「世界に翔け! 理系女子大学院生」最終審査と表彰式を行いました 7/16(土) 中百舌鳥キャンパス

昨年度に引き続き、国際的に活躍する若手女性研究者の育成のために、理系女子大学院生を対象に国際学会等で発表するための援助を行う表彰制度の募集と審査を行いました。9名の応募者から書類審査で選ばれた4名による英語のプレゼンテーションの後、12名の審査員の先生方によって最終審査を行い、受賞者の決定と表彰を行いました。



最優秀賞 ラジャ・ザヒラ・ラジャ・モハメド・ラジー (工学研究科情報通信システム分野 博士後期課程)

この表彰制度は、競争の場というよりも、研究成果と共にモチベーションを共有する場だと思いました。発表の中でお話しした、2人の子育てをしながら研究を続けてきたという私の経験が、同じ若手女性研究者のお役に立てれば嬉しいです。なでしこJAPANがワールドカップで優勝したように、苦労は必ず報われると信じていました。これも、今日まで支えてくれた皆さんのおかげです。ありがとうございます。

- 優秀賞** 上野 未貴(工学研究科知能情報工学分野 博士前期課程)
大塚 葉月(工学研究科応用化学分野 博士前期課程)
四良丸 幸(生命環境科学研究科獣医学専攻獣医環境科学分野 博士後期課程)

ハワイの国際学会に参加しました

昨年度の最優秀賞を受賞された黒田桂菜さん(工学研究科・博士後期課程)が、6月にハワイで行われた国際学会に参加しました。

2011年6月19～23日まで、ハワイ州マウイ島で開催されたISOPEという海洋工学に関する国際会議に参加しました。年1回海洋工学に関わる研究者が世界中から集まる大きな国際会議であり、近年は学生の参加者も増えています。本番は、公開審査の時の方が緊張したように思いますが、質疑応



答では今後の研究に役に立つ議論ができました。また、海という大自然に囲まれたマウイに滞在したこと、改めて海のもつ魅力にひかれると共に、海の研究に携われることの幸運をつくづく実感した滞在となりました。

黒田 佳菜

ロールモデルセミナーを開催 「顔認識の要素技術と看護・医療分野での応用」

6/2(木) 中百舌鳥キャンパス

共催：本学21世紀科学研究機構 看護システム先端技術研究所
講師：内海ゆづ子(本学工学研究科 助教)

内海ゆづ子先生より、ご自身の研究テーマである、動画を使用した顔認識や、監視カメラの顔認識技術の研究について、前任地であるオックスフォード大学の様子とともにお話しいただきました。また、その技術の医療・看護分野における応用や可能性についてもお話されました。参加した研究者や企業関係者より時間いっぱいまで質疑応答があり、活発な講演会になりました。



4 サポート基盤の整備 学内の各部局との連携・協力体制を強化します。大阪府や堺市をはじめとする地域との連携を深め、地域貢献を図っていきます。

堺市、大阪府との連携事業を企画しています

IRISが地域に出向いて「子どもサイエンス・キャンパス」などを開催予定 (上記参照)

和泉市立男女共同参画センターにて「ロールモデル・セミナー」開催予定

講師(予定)：中谷 敬子(大阪府立大学工業高等専門学校 准教授)

今後の予定については、決まり次第、女性研究者支援センターのウェブサイトなどでお知らせしていきます。